

どくしよ

第24号

2024年 3月

茨城県読書をすすめる協議会



今年度の取り組み

茨城県読書をすすめる協議会長 稲葉 里子

県民のつどいは、紙芝居作家の荒木文子氏を講師に迎えて、紙芝居の体験学習を行いました。参加型の紙芝居体験も行い、大変好評でした。読み聞かせコンクールにおいても、皆様のご協力のおかげで、素晴らしいコンクールになりました。

今後とも、すすめる協議会へのご協力ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



更なる読書活動の推進に向けて

茨城県立図書館長 小田部 修一

協議会の皆様には、日頃より本県の読書活動推進にご尽力いただき感謝申し上げます。県立図書館では、県民の皆様が、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりのために様々な事業を行い、読書活動の推進に努めています。県民の皆様にとって、魅力ある図書館となるよう、今後も更なる取組を図って参ります。

第24回茨城県読書をすすめる県民のつどい

期日：6月24日（土）
会場：茨城県立図書館

◆主催者挨拶



茨城県読書をすすめる協議会
会長
稲葉 里子



(公財)げんでん ふれあい茨城財団
事務局長
信澤 高博 氏



茨城県教育庁総務企画部
生涯学習課長
中村 珠美 氏

◆講演会

テーマ「紙芝居の効果的な演じ方」
講師 紙芝居師 荒木 文子 氏



第24回茨城県読書をすすめる県民のつどい
**紙芝居の
効果的な演じ方**
令和5年6月24日（土）
時間：13：45～15：40（受付13：30～）
会場：茨城県立図書館 視聴覚ホール
（水戸市三の丸1丁目5番38号）
定員：160名 事前申込制 参加無料
※ 申込方法は裏面参照
内容 ○開会行事 ○講演会
講師：紙芝居師 荒木 文子 氏




右手和子先生の指導を経て、自らの地歩を固め、紙芝居でネットワークをつなぐ草の根活動を、日本から世界へも広げ、全国各地への実演活動、全国紙芝居まつりの本部運営、ブーク人形劇場での実演大会等で紙芝居界を牽引している存在。
作家としても『まんまるまんま』などで腕を振るい、実演でも難しい「間」に独自の型を生み出している。間は観客と同じところで息をする
と集中できて場が一つになる。間をあげるところで息をしてみる。観客を置いていきそうになった時、息を吸うと間がもてる—実演から到達した論である。紙芝居資料室 一般財団法人 文民教育協会「子どもの文化研究所・子どもの文化学校」(kodomonobunnka.or.jp)から引用

■主 催：茨城県読書をすすめる協議会（公財）げんでん ふれあい茨城財団 茨城県立図書館
■後 援：茨城新聞社 朝日新聞水戸総局 毎日新聞水戸支局 読売新聞水戸支局 産経新聞水戸支局 東京新聞水戸支局 NHK水戸放送局 茨城放送 FMばるん

【お問い合わせ先】茨城県立図書館 〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38
TEL 029-221-5569 FAX029-228-3583

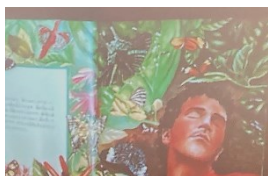
水戸地区読書をすすめる協議会

水戸地区読書交流会 (2024年2月3日)

1. 笠間市 睦読書会

カーテンシアター「ごちゃまぜカメレオン」 エリック・カール

白い布にカラフルな絵が描かれ、楽しいお話に引き込まれました。
40年近くの活動、会員の息子さん(高校生)がスタッフに加わり
活発な発表となりました。



2. 常陸大宮市 お日さまのかけらと小さな地球

絵本「カポックの木」 リン・チュリー 作

実写投影机を使った飛田とも子さんによる南米アマゾン熱帯雨林の地球環境の大切さを伝える
優しく暖かい語りでした。

3. 水戸市 次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ

小学校からの依頼公演 短縮版

紙芝居「高橋久子物語」茨城大学紙芝居研究会 作



高橋久子物語

広島で被爆した高橋久子の半生を伝える臨場感にあふれる公演でした。
戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるために、当事者に聞き取りをするなどして、時間をかけて
作った紙芝居。研究会解散後、オリーブさんが継承されています。

3団体によるメッセージ性のある内容で、日ごろの活動を生き生きと伝えていただきました。
24団体85人の参加。事例発表を快く引き受けていただいた皆様に感謝いたします。

水戸地区読書をすすめる協議会 総会及び講演会 (2023年6月3日)



常陸みんなの会
代表吉成智枝子さん

「文字化された伝説・無視された昔話」 常陸みんなの会

常陸みんなの会代表の吉成智枝子さんが、民話にかける熱い思いを話されました。

伝承者が少なくなっていることで、文字化(書籍)として残さなければという危機感があります。その土地の民衆によって生まれたのが民話・昔話であり、先人の思いがたくさん入っており、思いやりや優しさ、生き抜いていく知恵や強さ、善悪の区別、いのちの大切さが込められているのだと、民話の魅力と伝承していくことの大切さを話されました。次に、5人のメンバーによる民話の語り(口演)は、語り手の人柄と味わいが醸し出され、聴く人の心に民話の深さを熱く伝えました。

県南地区読書をすすめる協議会

「アーサー・ビナード講演会」



2023. 8. 29(火) 13時30分～
つくば市ふれあいプラザ
約120名

絵本作家であり、翻訳・詩作・ラジオパーソナリティと幅広く活躍されているアーサー・ビナードさんの講演会を実施しました。

自著の紙芝居や絵本を朗読しながら作品に込めた思いを紹介。

原爆投下された広島を舞台にした紙芝居「ちっちゃいこえ」では、今なお続いている原爆被害の実態を調査して、どの様に伝えたら良いか悩まれた心境を語ってくれました。

『作者の生の声に触れて、作品に対する思いが変わった。』『ビナードさんの思いをストレートに伝える話術に引き込まれた。』等、喜びの感想をお寄せいただきました。

会場全体がビナードワールドに引き込まれて、素敵な時間を共有できました。

「読書会」



2023. 10. 24(火) 13時30分～
つくば市ふれあいプラザ
8名

ビナードさんの講演会後の読書会という事で、「わたしの森に」を題材としました。

文：アーサー・ビナード

絵：田島征三里山

雪国の里山の四季を、アーサー・ビナードさんの詩的なことばと、田島征三さんの生命感あふれる絵で、美しく力強く描かれた本です。

どの様に読み取ったら良いかとの質問や意見等が活発に交わされました。

「フリーマーケット参加」



2024. 2. 11(日) 9時～
牛久市中央生涯学習センター

団体紹介しながら、活動費捻出のため「ごっ多市」に参加しました。

県西地区読書をすすめる協議会

県西地区総会 講習会

2023年6月3日(土) 下妻市立図書館

59名参加

総会は滞りなく済み、新役員募集のアピールをして終わりました。



講習会 講師 荒木文子先生

「紙芝居の魅力と効果的な演じ方+手遊び」

荒木先生(ぶんちゃん)の手遊びと紙芝居上演。その後「まんまるまんまたんたかたん」を使用して参加者に実地指導しました。アドバイスにそって演じると紙芝居がいきいきしてくることに、会場から「なるほど」と共感の輪が広がりました。

県西地区研修会

2024年1月21日(日) 結城公民館

60名参加



八千代町 よむよむクラブ

「はらぺこあおむし」人形劇の蹴込みを組み立てペープサートで上演。

「風のでんわ」は群読。どちらも心あたたまる作品でした。



筑西市読み聞かせの会 あすなる

手作り大型紙芝居「どんぐりとやまねこ」カーテンシアター「しあわせの王子」ぐるとハンガーラックを組み立てて布に手書きの場面を吊っていき、その上に黒布を重ねてセッティング完了。黒布をはずしてストーリーが進行していきます。知っているお話しなのに切なくなりました。



桜川市 ほのぼの読み聞かせの会

「桜子ものがたり」謡曲(桜川) 入り

謡曲と現代語訳が交互に語られ母子の情愛が格調高く、物語がすすんでいきます。総勢14名での上演でした。

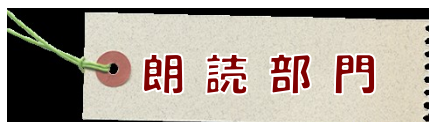
3グループが、それぞれ工夫し素晴らしい発表でした。



令和5年度 第22回読み聞かせコンクール

朗読部門：2月10日(土)
自由部門：2月24日(土)
会 場：茨城県立図書館

読み聞かせや朗読等に携わっている方(団体)や幼児、児童生徒が、日頃の成果を披露し合うことにより、さらなる技術や表現力の向上を図る事を目的に今年度も実施しました。



個人による朗読発表



中学生以下の部

茨城県知事賞
茨城県議会議長賞
茨城県教育委員会教育長賞
茨城県立図書館長賞
茨城県読書をすすめる協議会長賞
(公財)げんでん ふれあい茨城財団理事長賞

久米俊太郎
塩野 結菜
家住 風由香
塩野 樹
白石 和奈
青柳 晴愛

一般の部

茨城県知事賞
茨城県議会議長賞
茨城県教育委員会教育長賞
茨城県立図書館長賞
茨城県読書をすすめる協議会長賞
(公財)げんでん ふれあい茨城財団理事長賞

渡邊 瑞紀
平澤 真年
秋山 聡子
下拂 有子
加藤 史織
生田目 龍海



中学生以下の部 知事賞：久米さん



中学生以下の部 議長賞：塩野さん



中学生以下の部 教育長賞：家住さん



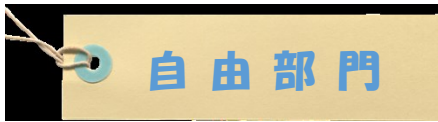
一般の部 知事賞：渡邊さん



一般の部 議長賞：平澤さん



一般の部 教育長賞：秋山さん



- 個人・団体
- 読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、群読、ストーリーテリング、エプロンシアター等



高校生以下の部

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 茨城県知事賞 | 須田 明衣 |
| 茨城県議会議長賞 | 佐和高等学校朗読部 |
| 茨城県教育委員会教育長賞 | 小美玉市立美野里中学校演劇部 BIRD |
| 茨城県立図書館長賞 | 水戸聾学校小学部 (MSD 1 3 6) |
| 茨城県読書をすすめる協議会長賞 | 読み聞かせ twins |
| (公財) げんでん ふれあい茨城財団理事長賞 | 水戸第二高等学校放送部 |

一般の部

- | | |
|------------------------|--------------|
| 茨城県知事賞 | 家住 敏子 |
| 茨城県議会議長賞 | 岡崎 江美 |
| 茨城県教育委員会教育長賞 | 劇団車輪のわくーRimー |
| 茨城県立図書館長賞 | Betty さんのお話会 |
| 茨城県読書をすすめる協議会長賞 | おはなしすずかけっ子 |
| (公財) げんでん ふれあい茨城財団理事長賞 | 廣岡 美穂 |



高校生以下の部 知事賞：
須田 明衣さん



高校生以下の部 議長賞：
佐和高等学校朗読部のみなさん



高校生以下の部 教育長賞：
小美玉市立美野里中学校演劇部
BIRD のみなさん



一般の部 知事賞：家住さん



一般の部 議長賞：岡崎さん



一般の部 教育長賞：劇団車輪のわくーRimーのみなさん

子どもたちに読書の素晴らしさを！物語の世界を旅する楽しさを！その一念で様々な取組をしてきた。

ある学校から「読み聞かせでは人数に限られる。多数の児童に語りかけられる方法はないか。」と相談された直後に、インドネシアでワヤンという影絵人形芝居に出会う。

これだ！帰国後、早速「かぐや姫」の影絵を製作し祖父母学級で試演すると涙を流す人がいた。影絵は、幻想的な光と影の効果か、観る人を物語の世界に引き込む。

手応えを感じ、その後は中・高校で芥川龍之介の「くもの糸」を上演。体育館に集められた約300名の生徒はざわついていましたが、始まると静まり返り集中して観賞してくれた。

物語の魅力に気づき、それが読書に親しむきっかけとなってくれればと願う。

2004年からNPO法人「絵本で子育て」センター「絵本講師・養成講座」にもスタッフとして関わり、絵本で子育てすることの楽しさを子育て中の母親・父親たちに語ることでできる人材を育成する活動に力を入れている。

地域での活動は、小学校での読み聞かせと読書会等を実施。



◇◆◇令和5年度役員紹介◆◆◇

顧問	小田部修一（茨城県立図書館長）	
会長	稲葉 里子（県西地区・結城市）	
副会長	中根 加代（水戸地区会長・水戸市）	林 昌子（県南地区会長・美浦村）
	畠山美弥子（県西地区会長・古河市）	
理事	加藤 智子（水戸地区副会長・那珂市）	長谷川登代（県南地区副会長・守谷市）
	海老原和子（県西地区副会長・結城市）	
監事	海老原一郎（県南地区副会長・土浦市）	根本美弥子（水戸地区副会長・笠間市）